

## 理想の暮らしのシーン集【子育て・交流】

番号	タイトル	主人公	シーン
子育て・交流	どんな人種の方も分け隔てなく交流し、地域社会で子を育てるまち	アメリカ人の夫と小さい子どもを育てる育休中の 30 代日本人ママ	<p>3 年間の育休期間を活用し、柏原駅前のおしゃれな市のレンタルスペース(カフェ)で、1 歳と 3 歳の我が子に「英語に触れられるイベント(国際交流の場)を開いています。このイベントでは、地域に住む外国人やインバウンド(外国人観光客)を招き、日本文化や伝統(着付け、みそづくり)を英語で紹介し、子どもたちは英語で会話をしています。(外国人移住者も増加しています。)</p> <p>普段は時短勤務をしているママたち(14 時～15 時終業)も、仕事終わりに集うことができます。」</p>
子育て・交流	<p>地域総合支援センターを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしいまちづくり(段差をなくす取りくみ)</li> <li>・防災センターを作ろう</li> <li>・山ぞい地域の健康福祉センター(オアシス)など</li> </ul>	<p>ラジオネーム大阪ゆきりんです。</p> <p>2040 年の子供達に向けてのまちづくりを応援します。</p>	<p>地域のコミュニティで交流食事をしている。筆談ボード(点字)でお話できる</p> <p>まちの施設機能、子ども食堂のボランティア活動、全ての小学校区に子ども食堂があり、地域のだれでもが参加できている。</p> <p>地域総合支援センターが各地域にできている。そこでボランティア活動をしている。</p>
子育て・交流	地域で共同子育て	子育て中の母	<p>送迎、託児、買物、必要な物の貸し借りができて、譲り合いができる空き家のスペースの確保をする</p>
子育て・交流	物を大切に	子育て中の人	<p>子育てタクシーがあって、習い事教室に行く子どもがいたら、その道中に何人が近場の目的地の人も乗り合って利用できるような仕組みがある。(利用には登録が必要であり、安全に利用できるように。)</p> <p>待ち合わせ場所を各々設定し、服や物など交換する仕組みがある。こどもの服はすぐにサイズが変わるため、物々交換できる。</p> <p>他にも…、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の人と BBQ</li> <li>・学校で灯籠イベント</li> </ul>

## 理想の暮らしのシーン集【交流】

番号	タイトル	主人公	シーン
交流	空きスペースを有効活用したにぎわいのあるまち	サラリーマン	商店街などの空き家を利用して、バーチャル体験(スポーツ観戦)が行える場所があり、休日や仕事帰りに利用する。
交流	空き家、空き部屋利用で気分転換	色々な場所に行くのが好きな人	山で BBQ や川で BBQ その他空いている人の部屋で女子会 友人や近所の人と楽しくおしゃべり交流 いろんな世代の人と会話をして情報交換
交流	バトナムの方を含む外国から来られた方が住みやすい街 柏原市になっている	柏原市に住むバトナム人の男性	バトナムの方と交流をしていて、バトナムの文化に触れるイベントを開催している。バトナムや他の市との交流を深めて、他の国の方とバトナムの方々との交流も広げていく。 空き地を外国人の方が借りやすい状況にあり、他の国の方もマルシェなどに参加してもらう。
交流	お年寄りに優しい町	高齢者	サービスなどの利用について、直接行政に聞きづらいことを授業の一環として学生に教えてもらえる。学生は様々なニーズを把握しており、様々な課題解決を担う若者である。

## 理想の暮らしのシーン集【自然など】

番号	タイトル	主人公	シーン
自然など	衛生面、清潔、SDGs	大阪のゆきりん 2040年の次世代の子ども達へ	下水道の100%衛生・清潔なまちづくり/豊かな自然を活かした里山づくり、緑の公園をもっと多く作る/総合スーパー(食料品だけでない)/子育て支援/図書館作り
自然など	人と緑と水 自然とまちが上手く交わったステキな住空間	4人家族の父(妻・子供2人)ぶどう農家として日々を過ごしている。	2040年柏原市役所の近くに新しい駅ができています。 「JR」「近鉄大阪線」「道明寺線(南大阪線)」が乗り入れているハブステーションと、国道25号、大和川が近くにあり住みやすいまち。 (大和川はワースト1、2位の水質から大きく改善している。)
自然など	自然と共に物を大切に	自然と共に時間を使いたい人	それぞれの季節にあったイベントを龍田古道(ナップ:短時間の睡眠や仮眠)やアクアロードで行う。 体験文化センターや前教育委員会、地域の会館などで山に畑を持っている人の野菜などを売る棚の設置、また、子供などに農家体験 ボランティア証発行/各設置場所への移動はきらめき号(市内循環バス)やレンタサイクルの普及

理想の暮らしのシーン集【働き方(交流・子育て)】

番号	タイトル	主人公	シーン
働き方・交流	仕事・交流がしやすい、住める！サードプレイス	とある会社の社会人。地域の方と交流したい。交流・コワーキングスペース兼居住地として使えるサードスペースがほしい人	いつ:季節問わず どこ:少し駅から離れた住宅街・商店街(空き家・空き店舗) だれ:社会人 何:マッチング・仕事 2 拠点でのサブスクリプションサービスも展開され、在宅ワークも広まり、会社へ行かなくても働ける。そして交流のニーズが高まっているため、ここに行けば皆に会える！仕事ができる！しかも住める！
働き方・子育て	シェアスペースが多くあるまち レンタルスペース、シェアカー、シェア農地、空家、空地、耕作放棄地(休耕地)、リサイクル(自然、環境)	40 代半ばの父、4 人家族、柏原市は治安もよくグローバルな都市となっている。(人口増加、子どもが多い)	働き方にも余裕ができ休暇も多く、昼休みも(働き方)2 時間有る充実した子育てができるまち。安全安心な生活ができる柏原市。
働き方	仕事の負担を軽くし、プライベートの充実を図る	35 才、介護施設でケアマネージャーをしている女性(将来施設長を目指している)	私は、普段介護施設でケアマネージャーをしている。子育てをしながら、早朝に子どもを学校に送り、仕事場へ行くのは精神的疲労が多く、シフト制ではあるが、高齢者の様子が気になり、睡眠時間は短い。介護職は決まった雇用形態に準じないことが多いが、もし、ロボットを活用し、人の負担を軽くし、週休を増やせれば、プライベートの充実が図れるかもしれない。休みの時間に、介護についての教養を深め、子どもとの接する時間を増やす。
働き方	全自動でぶどうの収穫～販売までしてくれるロボット	市役所職員、ぶどう農家です。	ロボットに土地の情報を入力し、ぶどうの品種や数を登録する。販売ルートまで確立してくれていることで、農家の負担が減り、副業でさらに収入を得られるようになる。
働き方・その他	新しい学校の形	18 才の女子高生	国語、数学、理科、社会は全て苦手。でも、2040 年には学校で教えられる内容が大きく変化し、地域の学校だけでなく、世界中の学校の授業を簡単に受けられるハブ学校が市内に設置されるようになる。ハブ学校には、高校生でも使える新たなモビリティで簡単にアクセスでき、そこで学ぶことにより、新たな拠点で仕事を選べるようになる⇒学校減少

### 理想の暮らしのシーン集【観光】

番号	タイトル	主人公	シーン
観光	年に12回旅行に行く	24歳の社会人一年目 男子(独身)	私は旅行が好きで一人 or 友人と年に3回は旅行に行きたいです。でも移動時間長いのはキライ。お金もそれほど稼いでいない。駅や公共施設(図書館や公園)に行けばバーチャル空間を体験できる施設があり、その施設へは、次世代モビリティ(空飛ぶ自転車や、無料公共タクシー)により、雨風関係なく行くことができます。でも2年に1回は海外旅行に行きたい。
観光	飛行機で行く！柏原数日間観光ツアー！ができたとして、外から来てくれる人と会いたい！おもてなし祭り！！	他地域の方と話したい 地元の人！他地域の人をもてなしたい！ 出店、交流イベント、カラオケ大会、演奏会等をする人	[いつ](ぶどう狩りの時期である7~9月?)、何かイベントがあるとき、柏原市民総合フェスティバル、ロハスパーク大阪柏原/[どこ]アクアロード、市役所前の河川敷などでを行い、市全体と協力/[だれ]だれでも/[なに]柏原市のイベントを目的とするツアー参加者との交流。アクアロードの近くでフリーマーケットや、小さなお祭りを増やして観光強化週間にする。 結論:外から来てくれる人が多い時期に合わせ、数日間小さい催しを開き、おもてなし週間を作る。 補足:出店などに人を割かなければならない。宿泊施設が少ない。
観光	柏原市の文化施設をより多くの人に知ってもらう	大学の卒業論文で柏原市の文化をどう知ってもらうか悩む大学生	私は、大学で地域の文化振興について研究をしています。実際に駅から文化財までの距離が遠く、不便だと感じることがあります。柏原駅の周辺には、重要文化財三旧家住宅がありますが、市内外の人々がその存在に気づき、足を運んでいるかどうかは未知数です。私は研究をしていく中で、昔の暮らしをおもんばかりの高齢の方が多いことに気づき、自分が呼んだ時間に駅に来てもらい、文化財まで送迎してもらおうサービスが合ったらいいなと思いました。

### 理想の暮らしのシーン集【その他】

番号	タイトル	主人公	シーン
その他	若者にえらばれるまち	多拠点生活をしている 20代女子(独身)	自分に合ったまちはどこか？探し求め、全国各地を点々としている。今は柏原市に住んで3ヵ月。柏原市は産業・農業に必要なエネルギー(太陽光発電(蓄電)普及率100%)を市内で完結されていて、地球環境にも配慮されている。 若者が自分の力を試したり、興味のある分野の学びを深める支援が充実しているため、収入が十分でなくても挑戦しやすいまちだと感じた。定住も視野に入れて、しばらく住み続けたい。
その他	休日に音楽があふれる街		商店街が歩行者天国になっている 空き地で路上パフォーマンスが行われている モビリティターミナルが設置されて利便性が良く、歩きたくなる商店街である